

## 2 ホンシメジ栽培技術の開発(第5報)

予算区分：県 単  
担当科名：生物資源科

研究期間：平成10～14年度  
担当者名：宗田 典大

### ．目 的

ホンシメジ菌の大量培養を検討すると共に、アカマツ林への培養菌の接種による増産技術を開発し、アカマツ林の有効利用とホンシメジ生産による地域の活性化を図る。

### ．試験内容および結果

平成13年度は、埋設菌床の状態および子実体の発生、ホンシメジ培養菌床の現地適用について検討した。

#### (1)ホンシメジ埋設菌床の状態および子実体の発生

平成11年度金沢市の富樫県有林内のアカマツ林に試験地を設定し、林内の環境整備とホンシメジ菌の接種を行なった(業報37号参照)。今年度は平成12年度に引き続き、接種菌床の定着状況の調査および子実体の発生の確認を行った。

平成11年度に菌床埋設をしたうちの数ヶ所について、掘り取り調査を行い埋設菌床の状態を観察した結果、ホンシメジの菌糸が確認された。しかし、今年度においても菌床接種、孢子散布、子実体埋設のいずれの方法でも子実体の発生は確認されなかった。

#### (2)ホンシメジ培養菌床の現地摘要について

ホンシメジ培養菌床の現地適用に関し、石川県津幡農林総合事務所の協力を得て、12月7日に河北郡高松町瀬戸町地内の民有林内で一般市民による菌床埋設作業を行い、作業上の問題点について聞き取り調査を行った。埋設した菌床の培養は、平成9年度に行った方法に準じて行った(業報35号参照)。

聞き取り調査は現地で使用上の説明後、菌床埋設作業を行った後に行った。聞き取り調査は作業に参加した30人(年齢50代～60代)を対象に、作業上の問題点の有無について質問した。

聞き取り調査の結果、菌床を埋める位置、深さを作業直前に説明したことにより、特に作業上の問題点の指摘はなかった。

### 摘要

本研究における、ホンシメジ子実体の発生は、林内環境整備によるもの以外確認されなかった。埋設菌床に由来する子実体の発生確認はされてはいないが、菌床培養技術および林内環境整備についてはほぼ確立した。今後は、子実体形成が容易な菌株の収集と、林内環境整備の普及体制を整え、マツ林の環境改善と子実体の発生について検討する計画である。